

令和 7・8 年度 板橋区立舟渡小学校 研究主題
深い学びに導く国語科授業づくり
 ～身に付けたい力を明確にした指導を通して～

めざす児童像

目的意識をもって主体的に読み、自分の考えをまとめ、
 他者との交流を通して自分の考えを広げたり深めたりすることができる子

“しっかりしたイエを建てて、高いオカに登る”

◆ 身に付けさせる力とその手だて

	第 1 学年及び第 2 学年	第 3 学年及び第 4 学年	第 5 学年及び第 6 学年
共有	カ 文章を読んで感じたことや分かったことを共有すること。	カ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くこと。	カ 文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。
形成 考えの	オ 文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。	オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。
手だて	<ul style="list-style-type: none"> ・感じ方の違い（＝ずれ）を顕在化・可視化させ、対話を促進する。 ・他者の意見を「つないでいる」、「受け止めている」、「まとめている」発言を価値付け、互恵的な雰囲気の中で対話できるようにする。 		
・解釈 精査	エ 場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像すること。	エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像すること。	エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。
	イ 場面の様子や登場人物の行動など、内容の大体を捉えること。	イ 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。	イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。
手だて	<ul style="list-style-type: none"> ・場面ごとに、「時」「場所」「人物」を確かめる。 ・誰が何をしている場面かを確かめる。 ・オノマトペや修飾語に着目させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちを読み取る手がかりとして、動詞に着目させる。 ・様子や行動、気持ちや性格を表す語彙の充実を図る。 ・登場人物の境遇や状況、行動や会話に関わる複数の叙述を結び付けて読ませる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考に関わる語彙の充実を図る。 ・人物像登場人物の行動や会話、様子などを表した複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方など総合的に判断させる。

◆ 朝のモジュールを活用した読み解く力（基礎的読解力）の育成

第 1・2 学年	第 3～6 学年
MIM（多層指導モデル） 学習の土台となる「読み」のつまづきを早期に発見し、確実に定着を図る。	短作文・「言葉の名探偵になれるヨムトレ」ほか 教科書等のテキストから必要な情報を読み取るための基礎的読解力を育成する。